

2005年度
中間決算説明会

当社の戦略と展望

2005年11月

 **SUMITOMO CHEMICAL**

執行役員経理室部長 原 誠

2005年度中間決算概要

2005年度中間期の業績

売上高、全段階の利益で中間期としては過去最高を記録

【連結】	2004年度中間期 実績	2005年度中間期 実績
売上高	6,195億円	6,884億円
営業利益	542億円	566億円
経常利益	639億円	720億円
純利益	305億円	394億円

中間配当金(1株当たり)

2004年度「3円」

2005年度「4円」

2005年度年間の業績予想

【連結】	2004年度 実績	2005年度 予想	前期比(%)
売上高	1兆2,963億円	1兆5,400億円	+ 18.8%
営業利益	1,052億円	1,100億円	+ 4.6%
経常利益	1,235億円	1,250億円	+ 1.2%
純利益	645億円	790億円	+ 22.6%

中期計画目標との対比

【連 結】

(単位：億円)

2004年度

2005年度

2006年度

売上高

中期計画目標

11,800

12,400

13,300

実績又は予想

12,963

15,400

-

営業利益

中期計画目標

750

1,000

1,200

実績又は予想

1,052

1,100

-

純利益

中期計画目標

420

500

650

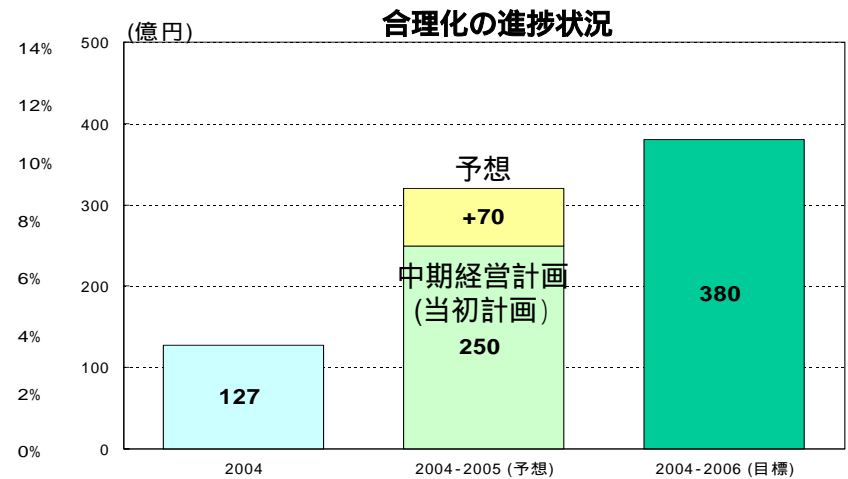
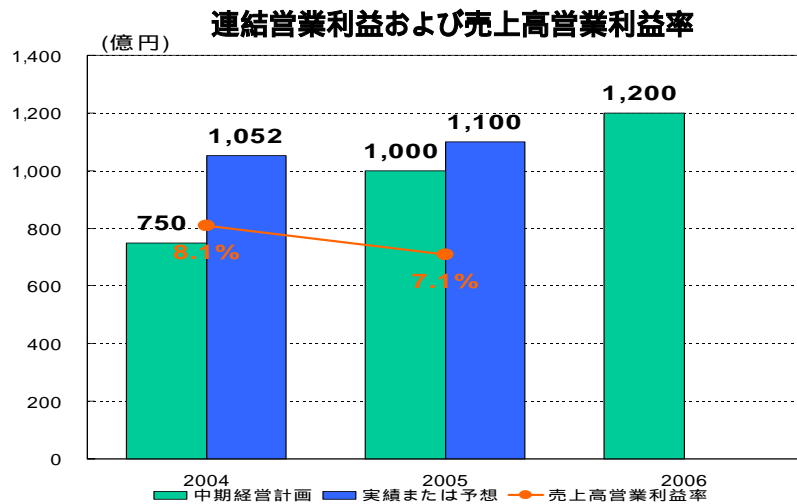
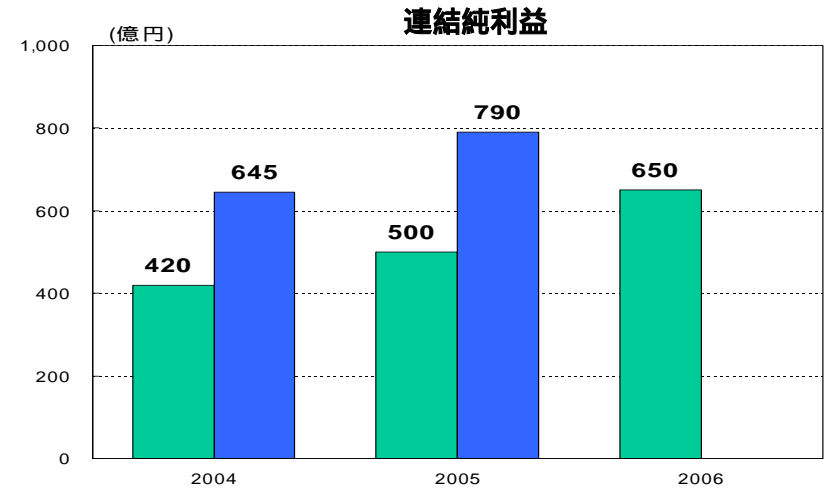
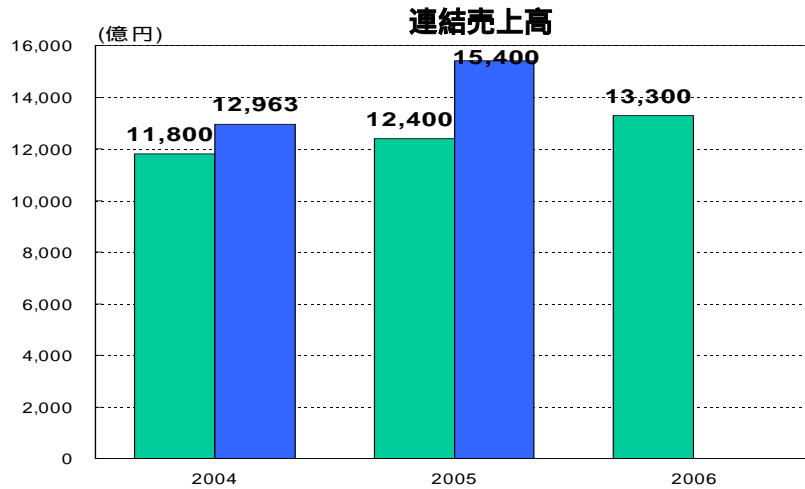
実績又は予想

645

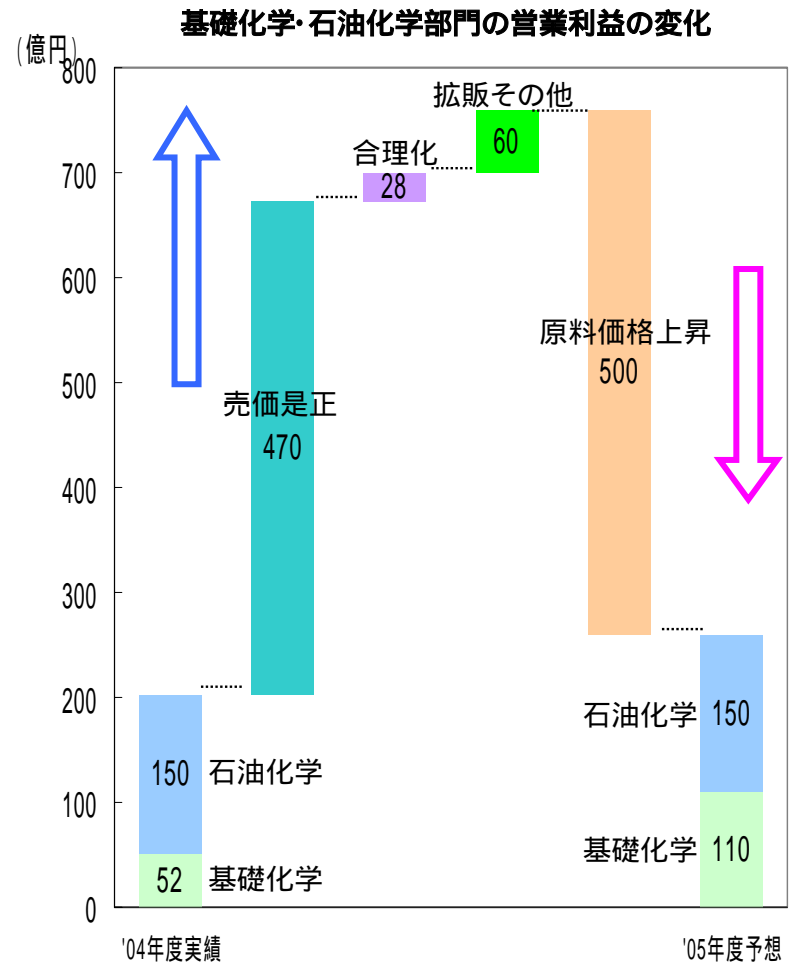
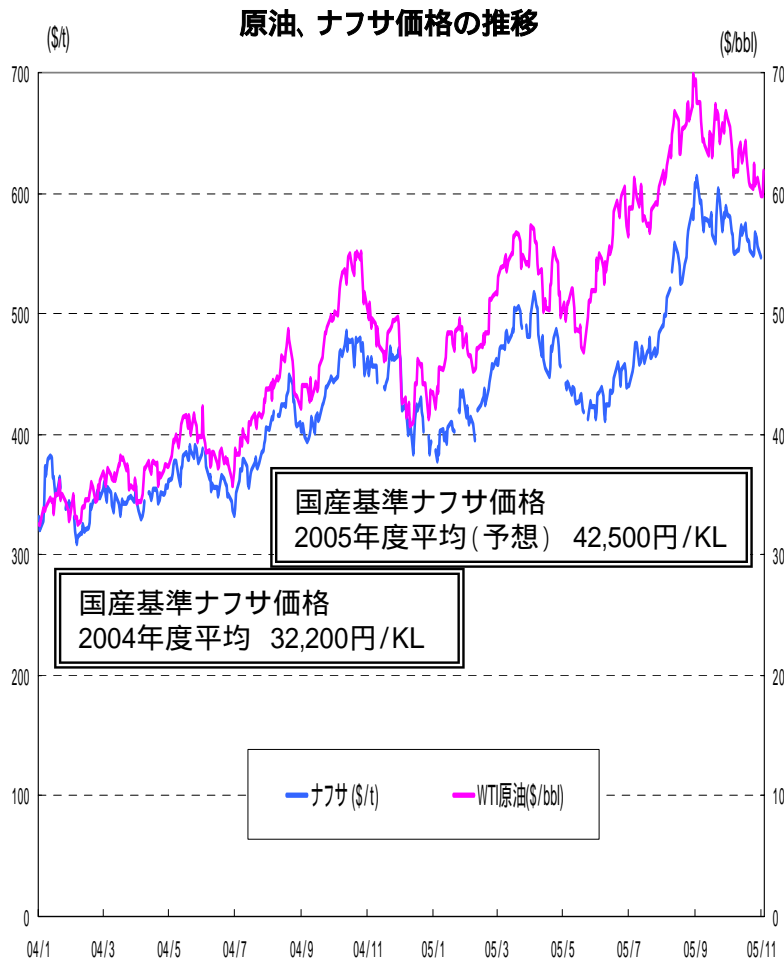
790

-

中期計画目標との対比



最近の原油高騰への対応状況



中期経営計画のアクションプラン

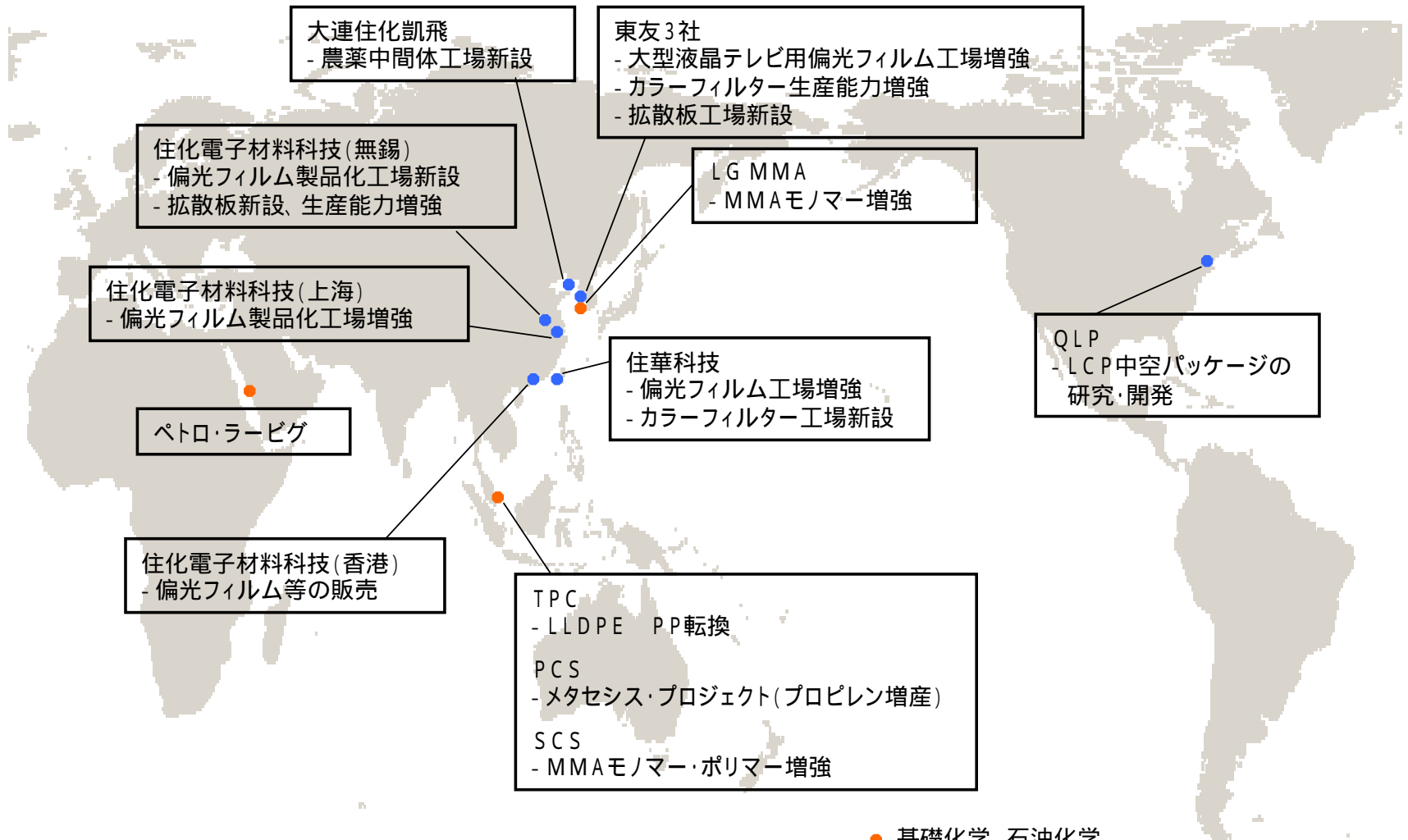
中期経営計画の基本方針

アジアをはじめとした海外拠点の充実によるグローバル化の推進

ライフサイエンスおよび情報電子分野への重点投資

石油化学分野での安価原料の安定確保による収益改善

グローバル化の推進 ~ 海外拠点の充実

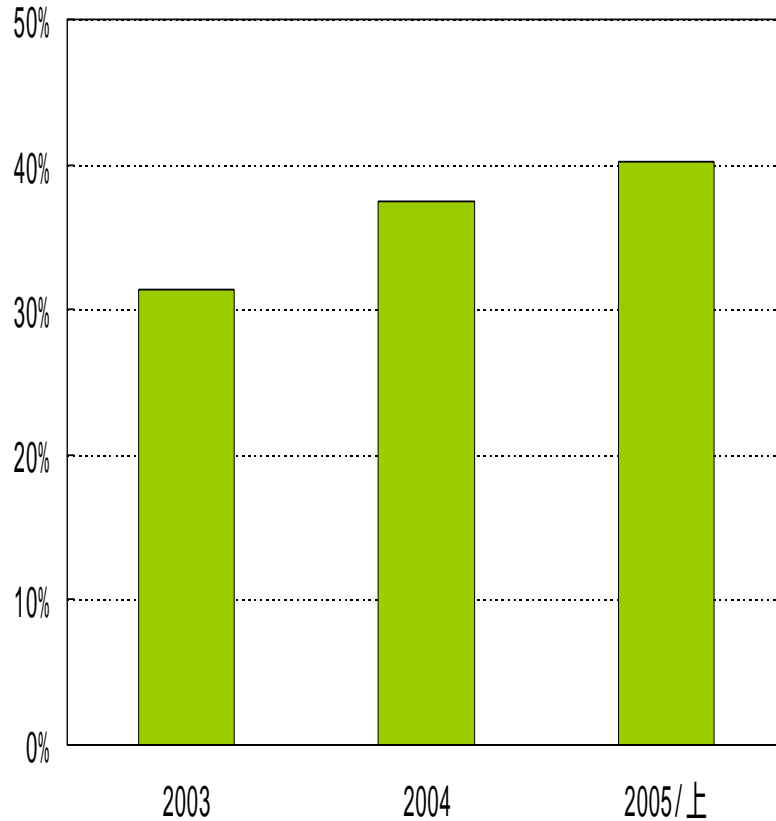


● 基礎化学、石油化学

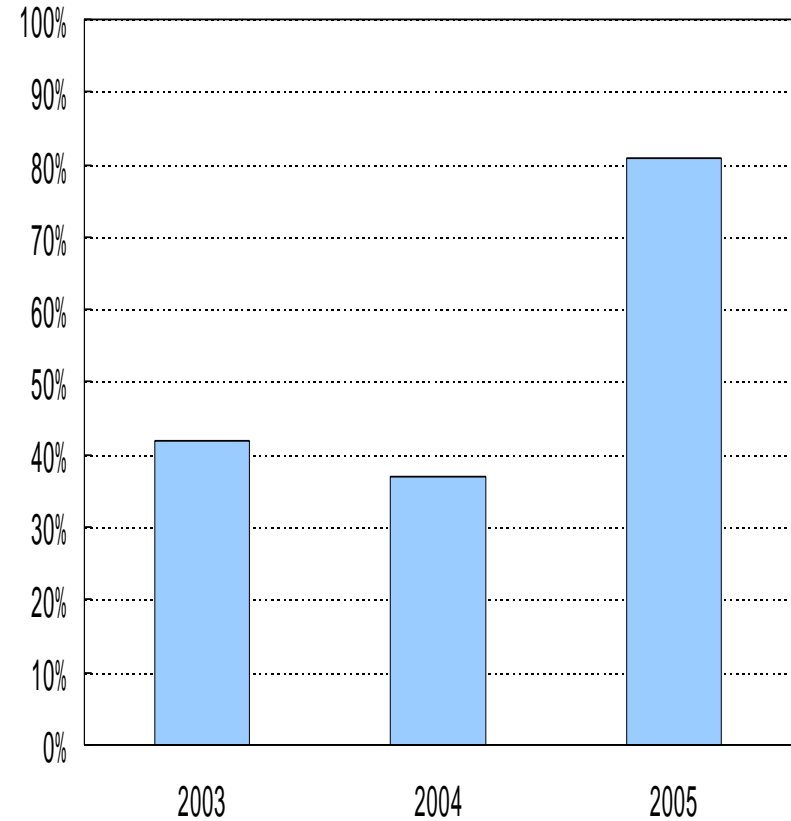
● 情報電子化学、ライフサイエンス

海外売上高比率および海外投融資比率の推移

海外売上高比率の推移



海外投融資比率の推移



(注) 海外投融資比率は意思決定ベースで計算している。

情報電子化学の取組み

	光学機能性フィルム	カラーフィルター	拡散板・有機EL他
日本	愛媛第2工場 2006年6月完成予定 (生産能力 600万m ² /年)	新STIテクノロジー - 100%子会社化	液晶ポリマー生産能力増強 2005年5月運転開始 液晶ポリマー生産能力増強 2006年7月完成予定 有機EL JV設立 2005年11月予定
韓国	第2工場 2005年7月運転開始 (生産能力 400万m ² /年) 第3工場 2006年5月完成予定 (生産能力 600万m ² /年) 第4工場 2006年10月完成予定 (生産能力 600万m ² /年)	第2工場 2004年4月運転開始 (生産能力 60千枚/月 (5G)) 生産能力増強 2005年6月完成 (生産能力120千枚/月 160千枚/月) 生産能力増強 2006年6月完成予定 (生産能力160千枚/月 200千枚/月)	拡散板第1工場 2005年8月運転開始 拡散板能力増強 2006年秋予定 東友3社再編
台湾	台南第1工場 2004年4月運転開始 (生産能力 400万m ² /年) 台南第2工場 2005年9月運転開始 (生産能力 400万m ² /年)	新竹工場 2005年10月運転開始 (生産能力 50千枚/月 (2G))	
中国	上海 製品化工場増設 無錫 製品化工場新設 2005年8月運転開始 生産能力増強		拡散板第1系列 2006年2月運転開始予定 拡散板第2系列 2006年春完成予定
その他			Quantum Leap Packaging社への出資

ライフサイエンスの取組み

農業化学

M & Aシナジーの最大化
住化武田農薬 研究開発・販売ルートの統合等

メチオニン生産能力増強

オリセットネット供給体制の確立
(マラリア撲滅への社会貢献)

医薬品

大日本住友製薬の発足

統合失調症治療薬候補化合物に関するメルク社との提携

PET検査用診断薬の供給開始

ラービグ計画の進捗状況

1. 合弁会社 Rabigh Refining & Petrochemical Company (ペトロ・ラービグ) の設立

設立	2005年9月19日
役員	Abdulaziz F. Al-Khayyal (会長)
	米倉 弘昌 (副会長)
	Saad F. Al-Dosari (社長・CEO)
	石飛 修
	Motassim A. Ma'ashouq
	鈴木 孝利
	Abdulrahman F. Al-Wuhaib
	松村 俊樹 (CFO)

第1回取締役会を10月16日に開催し、合弁会社の組織や主要人事等を決定。

2. 日本貿易保険 (NEXI) による海外投資保険の引き受け

3. ファイナンス等の契約交渉も順調に進展中

高分子有機EL材料～サメイシヨンの立上げ

1. 会社名 サメイシヨン株式会社

2. 設立時期 2005年11月14日(予定)

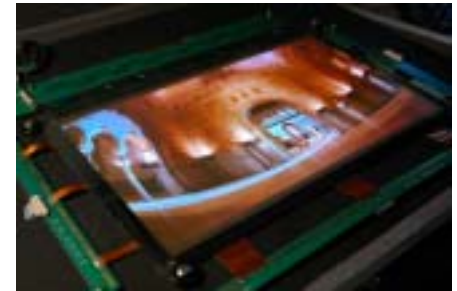
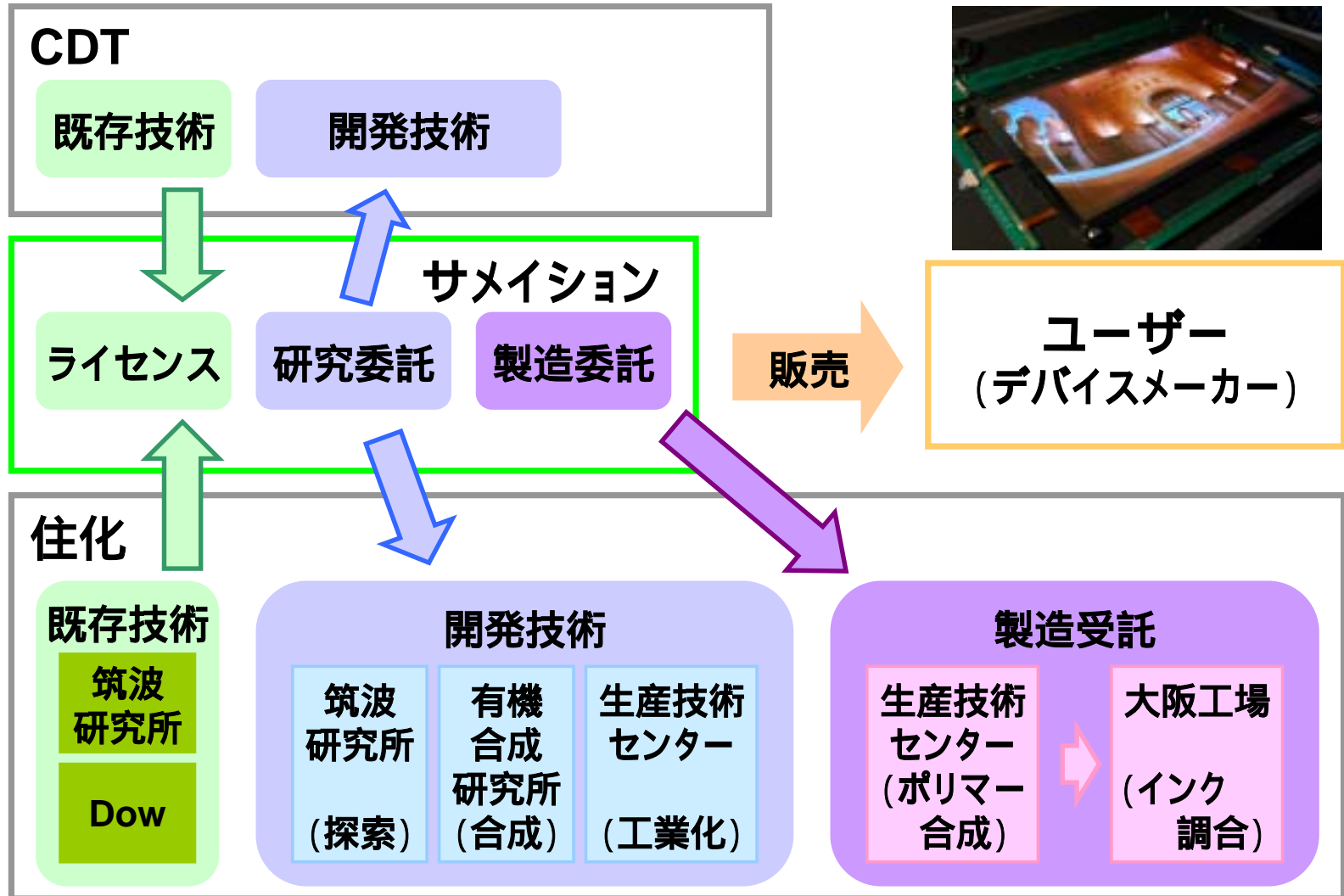
3. 資本金 当初3.4億円、以降資金需要に合わせて増資

4. 出資比率 住友化学 : CDT = 50 : 50
 CDT …… Cambridge Display Technology (英国)

5. 本社 東京 (住友化学東京本社18階)

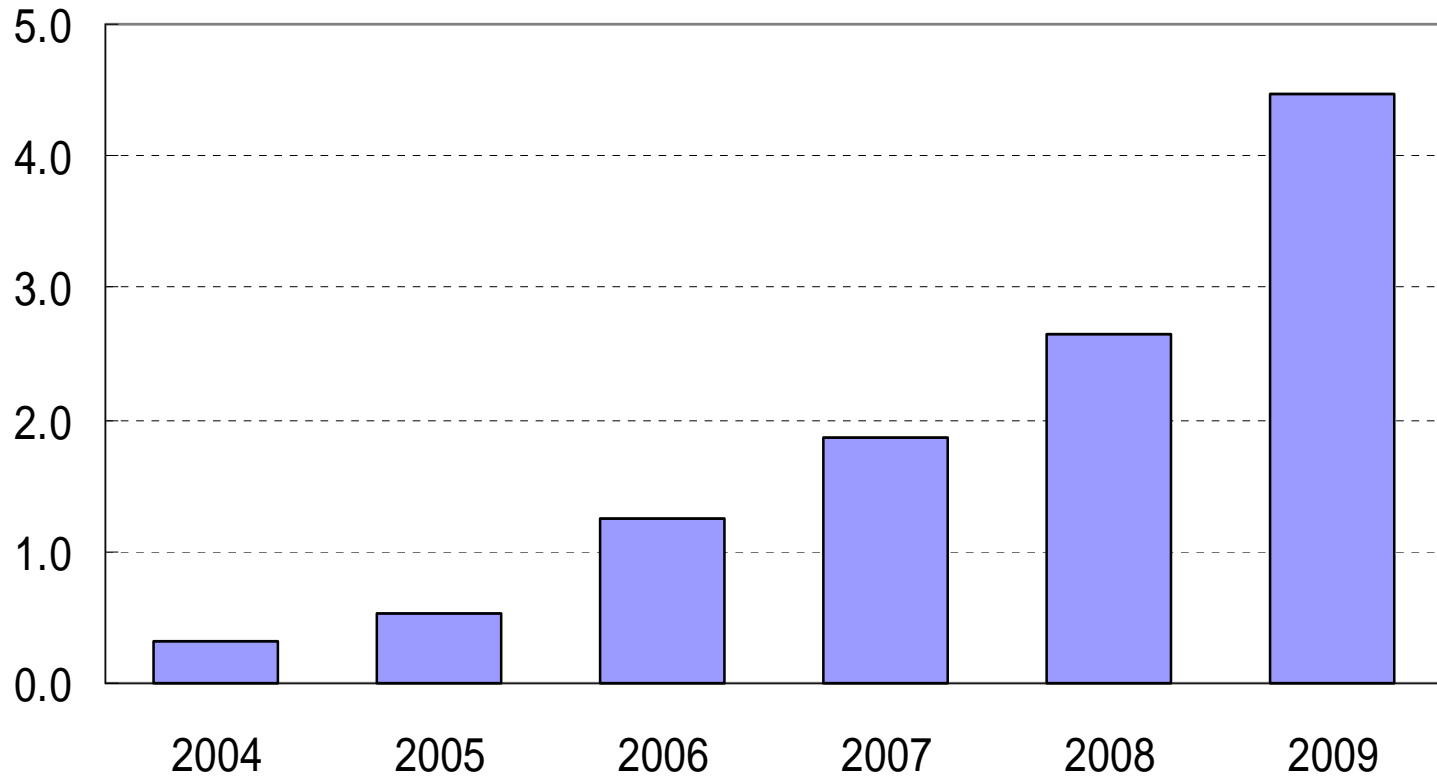
6. 事業内容 ディスプレーおよび照明用途の高分子有機EL材料(発光材料、
 正孔輸送材料等)の研究開発、使用、製造、輸出入、流通、販売

サメイシヨンのスキーム



有機ELディスプレイの市場規模予測

(\$US Billion)



(出典: Display Search 2005年6月)

高分子有機EL材料のターゲット分野と開発目標



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。